

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の・に マークを記入する。

(検 査 職 員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e	
2.施工状況	.施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である	
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> 約款第19条第1項(1)から(5)に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> 仕様書第1編に記された記載項目が事前に調査され、報告がなされている。(現場の図面との相違がないか、監督員との指示、承諾、協議事項、確認事項、仮設整備の選定、任意の確認など) 設計図書にある数量と使用数量に大差がない。(あった場合は、その対応がなされている。) 照査結果を監督職員に提出し、確認を求めている。(文書で整理されている。) 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <ul style="list-style-type: none"> 安全対策が的確に記載され、実施されている。 指定機械があるときは、使用機械が確認できるものが整理されている。 作業環境、気象、地質条件等を踏まえた施工計画書になっている。 施工計画書と現場の施工体制等が一致している。 <ul style="list-style-type: none"> 外注計画書が提出され、下請決定通知書が工事着手前に提出されている。 施工体系に明示される工期が工程表と整合する。 施工体系図が現場及び公衆の見やすい場所に明示されている。 建設業の許可票が、元請負業者及び下請負業者とも公衆の見やすい場所に掲示されている。 労災関係成立票が現場の見やすい場所に掲示されている。 施工体系図に記載された作業分担が現場と一致している。 下請関係が適正(注文請書の整備、金額など)に締結されている。 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 <ul style="list-style-type: none"> 施工計画書が概ね1ヶ月以内に提出されている。 現場の事前調査資料が提出されている。 工事規模に応じた人員、機械体制になっている。 条件明示を反映した施工計画書になっている。 施工体制台帳及び施工体系図が作成されている。 施工体制台帳の記入が要領に基づき、適正に記入されている。(作業主任者の専任、非専任など) 施工体制台帳による工事担当技術者(監理、主任、専門等)について資格、当事者確認の資料が整備されている。 施工体制台帳及び施工体系図に変更がある毎に、監督員に提出されている。 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。(様式6-2の提出がある場合が対象) <ul style="list-style-type: none"> 材料(質)のチェック、材料の保管、事前の対応、品質を保つための現場条件、品質を保つための方策の徹底、事後の対応、出来形に評価される品質の各々の時点における工夫がある。 立会確認の手続きが事前になされている。 <ul style="list-style-type: none"> 段階確認、臨時検査が監督要綱、及び監督技術基準により適切に実施されている。 段階確認、臨時検査が適切に実施され、工程表と整合する。 				<ul style="list-style-type: none"> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により修繕指示を行った。 契約図書に基づき施工上の義務につき、検査職員から文書により指示を行った。 <p>上記1項目該当事項があれば.....d 2項目以上該当すれば.....e</p>	

- ・ 工事記録の整備が適時、的確になされている。
 - ・ 工事記録が目的別に整理されて、工程の流れが把握できる。
 - ・ 着手届け、外注計画書、施工計画書、工事カルテなど一連の書類が所定の期限までに提出されている。
 - ・ 法的な手続き等が必要なものに提出の漏れがない。（休日、祝日作業、道路使用、港湾区域の使用、など）
 - ・ 説明のスムーズさから資料の整理、把握の良さがうかがえる。
- ・ 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。
 - ・ マニユフストが整理され、所要の数量と整合する。
 - ・ 施工計画書に再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画書が当初から添付されている。
 - ・ 建設副産物の最終処分地が当初から計画されている。
 - ・ 産業廃棄物の処分について、委託が許可を受けた会社と契約されている。
 - ・ 再資源化等の完了報告書が提出されている。
- ・ 建退共の証紙が適切に配布され管理されている。（中小企業退職金共済制度加入者は、これに読み替える。）
 - ・ 建退共制度等に加入している。
 - ・ 発注者向け掛け金収納書を工事完成時に提出している。
 - ・ 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場であることが表示されている。
- ・ 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。
 - ・ K Y 日誌で現場代理人の常駐状況が確認できる。
 - ・ 朝礼時において作業体制を的確に把握できる。
 - ・ 施工計画書の現場組織表で、作業主任が明記されている。
 - ・ 施工計画書の安全管理組織表で、安全に対する作業主任が明記されている。
 - ・ 施工体系図に同工種がある場合、分担範囲が明確になっている。（ない場合は、削除）
- ・ 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。
 - ・ 工期の変更がある場合（中止により工期を変更した場合も含む）
 - ・ 工法に変更がある場合。
 - ・ 数量に変更がある場合（指示書、及び変更契約等で数量に約 2 割以上の増減がある場合、但し精算変更の場合、及び監督員との調整で省略の場合は除く）
- ・ 工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されている。
 - ・ 納入伝票の数量と設計数値が一覧表で確認できる。
 - ・ 施工計画書の主要資材に品質、規格が明記されている。
 - ・ 設計図書に規定する工事材料の確認を段階確認で実施している。
 - ・ 品質証明（ミルシート、鉄筋試験、コンクリート試験練り、A S R（アルカリ骨材反応）、塩分濃度等）が整理されている。
- ・ 見本または工事記録写真等の整理に工夫がみられる。
 - ・ 見本（石等）作成し、材料確認等においてその見本を有効に利用している。
 - ・ 完成写真等に不可視部分の参考写真が添付されている。
 - ・ 写真の撮影箇所を略図等が添付され、把握しやすく見やすく整理されている。
 - ・ 書類の分類の仕分けにインデックス等を利用し、見やすく工夫されている。
 - ・ 俯瞰的な把握と共に、細部についても的確に把握できるように工夫されている。
 - ・ 資料整理が、縦横になっていないで、施工順番に沿って整理がなされ、理解しやすくなっている。

- ・ 工事の関係書類及び資料整備がよい。(「見本または工事記録写真等」以外の書類(承諾、協議などの打ち合わせ、安全教育関係資料、リサイクル、建退共など)、
- ・ キャリブレーションの必要な機器は、その成績結果表が添付されている。
- ・ 書類の分類や仕分けにインデックス等で利用し、見やすく(色分け)工夫がされている。
- ・ 検査時に提示を求めた書類がスムーズに提出されるようになっている。
- ・ 項目別に目的の見える総括表で整理されている。(例、安全教育であれば、年間実施状況、・・・)
- ・ 計算式等で算出根拠を説明するものがある場合、図表等を利用しわかりやすく整理されている。例、薬注の注入量、該当がない場合は、削除)

- ・ 社内の管理基準等が作成され管理している。
 - ・ 社内管理基準(目標)を設定し、管理されている。
 - ・ その管理基準により社内検査が完了していることが書面で確認できる。

- ・ 品質証明体制が確立され、有効に機能している。(3億円以上の工事及び事務所長等が必要と認める工事)
 - ・ 品質証明員届が提出されている。
 - ・ 品質証明員の資格は、一級土木施工管理技士又は技術士である。
 - ・ 品質証明員の現場経験が10年以上である。
 - ・ 適切な時期に現場の施工実態の確認を実施している。
 - ・ 検査前に工事関係書類等の事前確認を実施している。
 - ・ 品質証明書の書式が指定されたもので、証明者の押印及び請負者の社印がある。

- ・ その他()

チェック着目リストの2/3以上が該当する場合に、評価項目を とする。

- 評価値が90%以上..... a
 - 評価値が80%以上～90%未満..... b
 - 評価値が60%以上～80%未満..... c
 - 評価値が60%未満..... d
- 評価対象項目数が2項目以下の場合、c評価とする。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検 査 職 員)

審査項目	a	b	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ	<ul style="list-style-type: none"> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、下記の「評価対象項目」3項目以上が該当する。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、下記の「評価対象項目」のうち2項目以上が該当する。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	
出 来 形	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> 出来形管理図及び出来形管理表に創意工夫がある。 <ul style="list-style-type: none"> 測定表に出来形寸法を測定した箇所の略図等が掲載されている。 管理表による傾向、課題等が一目で判断できる。 パソコンの活用（図表化、グラフ化など）、先端技術の使用（不可視部分の解析など 例場所打ち杭の土中の状況）等による実態視がわかるようになっている。 出来形測定において不可視部分が写真で的確に判断できる。 <ul style="list-style-type: none"> 完成写真等に、不可視部分の参考写真が添付されている。 不可視部分の出来形寸法が確認できる写真が撮影されている。 自社の管理基準を設定し管理している。 <ul style="list-style-type: none"> 社内管理基準（目標）を設定し、管理されている。 その基準により社内検査が完了していることが書面で確認できる。 写真撮影要領の撮影項目、時期、頻度を満足している。 <ul style="list-style-type: none"> 社内管理の撮影工種、項目、頻度、箇所等が記載されている。 写真管理基準の撮影頻度（時期）に基づき、撮影していることが確認できる。 工事写真帳は写真管理基準に基づき作成されている。 起終点の表示が写真上で明示され、着手前と完成時が比較できる。 その他（) <p>チェック着目リストの2 / 3以上が該当する場合に、評価項目を にする。</p> <p>出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。</p>			<ul style="list-style-type: none"> 監督員が文書で改善支持を行った。 <p style="text-align: center;">上記項目に該当があれば……d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記項目に該当があれば……e</p>

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 職 員)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	コンクリート 二次製品構 造物工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質が、試験項目、試験基準 及び規格値を満足し、a 及び b に該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試 験基準を超えるものがあり、 ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、 試験基準を満足せず、品質が劣る。
品 質		<p>[評価対象項目]</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の品質規定証明書が整備されている。 ・ J I S規格外品について、仕様書の規定する規格、品質を満足している。 ・ 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 ・ 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 ・ 土留め、ウェルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。 ・ 二次製品の受け取りを現場代理人などの責任ある者が、製品を確認し受け取り、損傷のないもので施工されている。 ・ 施工基面は、平滑で、所定の強度が確保されている。(据え付け後に不等沈下で波打っていないこと) <p>【擁壁類(補強土壁擁壁は除く)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。 ・ 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。 ・ 材料の連結、またはかみ合わせが適切である。 ・ 端部における地山とのすりつけが適切である。 ・ 丁張りを2重、3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意をはらっている。 <p>【用排水施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 ・ 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締め固めが特に入念に行われている。 ・ 呑口、吐口、集水桝等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。 ・ 施設の流末は浸食、滞留等が生じないよう処理されている。 ・ 不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。 ・ 縦目地の目地モルタルが適切に施工されている。 ・ 製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。 ・ 製品の縦目地には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。 <p>【管水路工事】(一部合成樹脂管路も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心線の通りがよい。 ・ 仕様書で示す条件により締め固めが実施されている。 ・ 管の両端が均等に埋め戻されている事が確認できる。 ・ 地盤面、基盤面に不陸が生じていないことが確認できる。 ・ 管からの漏水がない。 ・ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 ・ 合流、分流の接合部では、適切な施工が実施されている。 ・ 水路の流れに支障なく、平坦、勾配に細心の配慮がなされている。 ・ 打ち継ぎ目の処理が仕様書通りに適正に実施されている。 <p style="text-align: center;">試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員が文書で改善指示を行 った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば.....d</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第18条第2項及び第3項に 基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば.....e</p>	

	<p>評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が80%以上 a</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が60%以上~80%未満..... b</p> <p>ばらつきが少なく(規格値を満足)、評価値が60%未満 c</p> <p>ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合は..... c</p> <p>• クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 別紙-4を参照 上記該当あれば..... c</p>		Ver.D1801
--	---	--	-----------

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
品質	土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>[評価対象項目] 【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水による崩壊が起きないように、排水対策を実施している。 筋芝又は種子吹付等を適切に行っている。 法面に有害なクラックや損傷がない。 建設発生土が適切に管理されている。 施工基面が平滑で、所定の強度が得られるように仕上げられている。 建設発生土の再利用が積極的に図られ、現場での放置がなく、時間管理の上で適切に管理されている。(<p>【切土、掘削】</p> <ul style="list-style-type: none"> 置き換えのための掘削を行うにあたり掘削面以下を乱さないように、かつ不陸が生じないように施工している。 余堀などによる地盤の強度低下を招かないように施工している。 切取法面において落石等の危険がないようにゆるんだ転石、岩塊等が除去されている。 <p>【盛土、築堤等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 段切り等が施工前に適切に行われている。 締固めを適切な条件で施工している。(巻き出し厚が均一で、均等な転圧が) 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っている。 土羽工の土質が適正である。 C B R試験等を行っている。 盛土材の品質、形状が設計図書に基づくものになっている。 軟弱地盤での盛土施工では、沈下量の測定が適正に実施されている。 <p>【補強土工】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎が沈下しないように十分な強度があるかが確認されて作業がされている。 盛土仕上がりの状態が変形のない、はらみのない状態で完成している。 補強材の施工にずれ、歪み、はらみ、損傷がないことが確認できる。 盛土の締固めを適切な条件(人力機械別、巻出し厚、敷き均し、転圧作業等)で施工されている。 プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料によりの確認できる。 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め適切に講じられている。 盛土の締固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。 構造物との取り合いがよく、排水処理が適切に実施されている。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象事項だけで評価する。 評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () = ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が80%以上 a ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が60以上~80%未満 b ばらつきが少なく(規格値を満足)、評価値が60%未満 c ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合には... c</p>		<ul style="list-style-type: none"> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p>上記該当あれば.....d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p>上記該当あれば.....e</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	護岸・根固・水制工事	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
品質		<p>[評価対象項目]</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工基面が平滑に仕上がり、所定の強度が確保されている。(出来上がりが波打っていない) 二次製品の受け取りを現場代理人などの責任ある者が、製品を確認し受け取り、損傷のないもので施工されている。 <p>【護岸】</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏込材、胴込めコンクリートが充てんまたは締め固めが充分で、空隙が生じていない。 緑化ブロック、石積み(張)、法枠、かごマット等で材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがない。 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切である。 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 矢板の品質がミルシート等で確認できる。 矢板打ち込みは、導材を設置し、ぶれ、よじれ、倒れがなく、かみ合わせが適切である。 材料の品質規格証明書等が整備されている。 製品の品質管理が適切に行われ、納入月日が確認できる。 ブロックマットのアンカーピンの配置、打ち込みが適切になされている。 ブロックマットは、所定の幅で重ねられている。 丁張りを2重、3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意をはらっている。 鉄線蛇籠工の使用では、詰め石のために籠が変形していないことが確認できる。 口締めの閉じ、鉄筋はよくねじれ強く締められている。 <p>【根固・水制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結又はかみ合わせが適切である。 設置間隔、高さ等が設計図書どおりに施工されている。 鉄線等での結束では、ゆるみなく緊張していることが確認できる。 コンクリートブロックの転置、仮置に際し、強度確認を行っている。 設置されたブロックに破損や補修痕のないことが確認できる。 異形ブロック等を現場で製作のものは、型枠搬入時に仮組等を実施し、寸法・歪み・傷等をチェックしている。 異形ブロックの製作で豆板、かけ、型枠の目違いが規定の範囲であることが確認できる。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p> <p>評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が80%以上..... a</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が60%以上~80%未満..... b</p> <p>ばらつきが少なく(規格値を満足)、評価値が60%未満..... c</p> <p>ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合には... c</p>		<ul style="list-style-type: none"> 監督職員が文書で改善指示を行った。 <p>上記該当あれば..... d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第31項に基づき破壊検査を行った。 <p>上記該当あれば..... e</p>	
			<p>上記該当あれば..... c</p>			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
品質	鋼橋工事 (RC床版 工事は コンクリート 構造物に 準ずる)	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>[評価対象項目] 【工場製作関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋼材の員数照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認されている。 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 塗料の品質が出荷証明書、塗料証明書で確認できる。 塗装前の処理が適切に実施されていることが確認できる。 仕様書に定められた制限内の気温、湿度の条件下で塗装を行っていることが確認できる。 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 放射性透過試験により溶接箇所試験結果報告書が作成され、適正に実施されたことが確認できる。 キャンバーが規格どおりに確保されている。 <p>【架設関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 支承の据付で、コンクリート面のチップング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切り勾配がついている。 ボルトの品質がミルシート等で確認できる。 架設の結果、塗装面を損傷していない。 現場塗装で塗り残し、むら等がない。 鋼材の保管にあたり変形及び塗装面に損傷を与えないように適切に管理されている。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象事項だけで評価する。 評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () = ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が80%以上 a ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が60以上~80%未満 b ばらつきが少なく(規格値を満足)、評価値が60%未満 c ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合には... c</p>		<ul style="list-style-type: none"> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p>上記該当あれば..... d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p>上記該当あれば..... e</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び地すべり防止工事等	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>[評価対象項目] 【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地山との取り合わせが適切に行われている。 施工基面が平滑に仕上げられ、所定の強度が確保されている。(出来上がりが波打っていない) 材料の品質規定証明書が整備されている。 <p>【砂防構造物工事に適用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。(JIS A-5308以外の生コンを使用する場合) コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スラブ・空気量等が確認できる。 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バイレターによる締固、養生方法等、適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打設後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 コンクリート打設時に雨水やわき水が適切に処理されている。 コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 施工の打ち継ぎ目では、コンクリート打設前の清掃等が適切に行われている。 打ち継ぎ目にモルタル施工が実施されている。 コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。 基礎地盤が確認され、適切に基盤面が仕上げられていることが確認できる。 掘削法面勾配が、正確に施工されていることが確認できる。 排水パイプ、吸い出し防止材が適切に施工されていることが確認できる。 床固め及び帯工等との取り付け部が適切に施工されている。 流路工の付属物の施工が適切に施工されている。 リフトスケジュールが作成され、コンクリート打設時期・養生が適切に行われている。 <p>【根留め工】</p> <ul style="list-style-type: none"> かご工の積み方が適正で、変形がなく、垂直に立ち上がっている。 かごは芋目地にならないよう交互に積み上げられている。 層積みの線が中だるみなく、水平に整っている。 口締め閉じ、鉄筋はよくねじれ強く締められている。 かごマット・蛇籠の詰め石の施工が適切で空隙が生じていない。 かごマット・蛇籠の中詰め石が仕様書に定められた大きさで施工されている。 <p>【集水井戸工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ライナープレート等の組立にあたり、偏心と歪みに配慮し、施工を行っている。 ライナープレート等と地山との隙間が少なくなるように施工を行っている。 地すべり状況を把握し、掘削中の地盤構造、湧水の記録が整備されている。 ライナープレート等を確実に固定できるように掘削が入念に施工され、ライナープレート端に触れることなく、鉛直方向に正確に施工されていることが確認できる。 ライナープレート等が仕様書に示す深さごとに1枚ずつ実施されていることが確認できる。 			<ul style="list-style-type: none"> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p>上記該当あれば.....d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p>上記該当あれば.....e</p>

品質

品 質	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライナープレート等の接続（ボルトと締付）が仕様書に示すとおり実施されている。 <p>【抑止杭工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杭に損傷及び補修痕がないことを確認できる。 ・ 既製杭の打ち止めの管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法が整理され、かつ、記録で確認できる。 ・ 杭の偏心管理が確認できる。 ・ 溶接の品質管理に関して、仕様書等に定められた事項が確認できる。 ・ 杭の継ぎ手溶接、あるいは接続が丁寧に施工されていることが確認できる。 ・ グラウト及び中詰コンクリートが、丁寧に施工されていることが確認できる。 ・ グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。 <p>【承水路工、排水路工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の出来あがりに凹凸がなく、丁寧に仕上げられている。 ・ 既設道路及び水路施設等との取付けがなじみが良く、施工されている。 <p>【水抜きボーリング工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 孔口間隔が正確であり、孔口の接続が丁寧に仕上げられている。 ・ 保孔管内部の洗浄作業が確認できる。 ・ 保孔管のストレーナー加工が適切であることが確認できる。 ・ 孔口部の土砂崩壊防止、排水口の流末処理、侵食防止が適切に施工されている。 ・ 集・排水ボーリング工の方向、角度、及び長さが設計図書に示されたとおりに適正になるよう施工上の配慮がなされている。 ・ 検尺について監督員の立合または、指示により確認されている。 ・ 保孔管が掘削全延長に挿入されていることが確認できる。 <p>【落石、雪崩防止工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料の品質規格証明書等が整備されている。 ・ 施工基面が乱さないように施工されている。 ・ 設置位置、設置の方向などが適正に施工されている。 ・ 基礎が地山となじみよく施工されている。 ・ 基礎周辺の湧水の処理、及び流水の洗堀に処理がなされている。 ・ ワイヤ式の防護工の場合は、張力にゆるみがないことが確認できる。 <p>試験結果の打点数等が少くばらつき判断ができない場合は評価対象事項だけで評価する。 評価値（％）＝評価数／対象数＝（ ）／（ ）＝</p> <p>ばらつきが少なく（規格値の80％以内）、評価値が80％以上 a ばらつきが少なく（規格値の80％以内）、評価値が60以上～80％未満 b ばらつきが少なく（規格値を満足）、評価値が60％未満 c ただし、ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が3項目以下の場合は... c</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラックがある場合、進行性又は有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 別紙-5を参照 上記該当あれば..... c 		
--------	--	--	--

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 職 員)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a 及び b に該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
品 質		<p>[評価対象項目]</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路床・路盤工のブルフローリングを行っており、沈下等の不具合があった場合は、良質の材料と入れ替えるなどの対策をおこなっている。 ・ 軟弱地盤など路床工にとって不適合なものに対し、対応策が取られている。 ・ 材料が分離しないようにおろす位置、方法が適正な方法で行われている。 ・ 構造物周辺の締め固め等が、適切に行われている。 ・ 路床・路盤工の密度管理が適切に行われている。 ・ 材料の品質証明書が整理されている。 ・ 掘削面の凹凸を除去し、均一な路床安定処理工が実施されている。 ・ 舗装の出来あがり左右する路盤工が平坦に出来上がっていることが確認できる。 ・ 設計図書に基づき、所定の厚さ管理が行われ、かつ品質管理が実施されている。 ・ 構造物とのすり付けが適正に実施され、ゆるんだところがない。 ・ 設計図書通りの施工に、水溜まりなく、表面仕上げにキャタピラの跡がなく、平坦に仕上がっている。 ・ 構造物周辺の締め固め等で振動ローラ等による入念な施工が実施されている。 <p>【アスファルト舗装関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。(アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く) ・ 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・ 舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通解放時の温度管理を適切に行っている。 ・ 舗設の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上にずらしていることが確認できる。 ・ 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 ・ 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締め固め等）の配慮が行われている。 ・ 乳剤が均一に散布され、第3者への飛散防止対策、及び構造物への付着などに細心の注意が払われている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アスカーブの施工において細かな配慮がなされ、丁寧に施工されている。 ・ 路肩処理、縁端処理の施工において細やかな配慮がなされ、丁寧に施工されている。 <p>【コンクリート舗装関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリート（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JIS A-5308以外の生コンを使用する場合） ・ コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度、スラップ・空気量等が確認できる。 ・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バグレターによる締固、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） ・ コンクリート打設までのチェアー、タンパー等の保管管理が適正であることが確認できる。 ・ コンクリート版の4隅、スリッパー、タンパー等の付近は、分離したコンクリートが集まらないようにしている。 ・ コンクリート舗装の表面は粗面仕上げで、かつ平坦、緻密、堅硬な表面仕上げになっている。 ・ コンクリート舗装の表面仕上げで縦方向に凹凸がない。 ・ 目地の隣り合わせの舗装面に段差がない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員が文書で改善指示を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば……d</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば……e</p>	

品質		<p>【橋面舗装】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 橋面舗装では、舗装に先駆け行う防水工においてむらがなく、橋面の防水前、及び施工後の測定を行っている。 • 水の浸入を防止する舗装端部の処理が適正に施工されている。 • 防水シートは、橋面部を洗浄し、水分計等で床版が十分に乾燥したことを確認した後に付着を適切に行っている。 • 舗装コアを採取しない場合は、別途適切な方法で密度管理を行っている。 • 床版工のスペーサーは、本体コンクリートと同等の品質で1 m2当たり4個以上の設置が確認できる。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p> <p>評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が80%以上..... a</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が60%から80%未満..... b</p> <p>ばらつきが少なく(規格値を満足)、評価値が60%未満..... c</p> <p>ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合はc</p>		Ver.D1801
----	--	---	--	-----------

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
品質	海岸工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>[評価対象項目] 【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JIS A-5308以外の生コンを使用する場合） ・ コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スラック・空気量等が確認できる。 ・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレータによる締固、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） ・ 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打設後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 ・ コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 ・ 施工基面が平坦に仕上げられている。 ・ 材料の規格・品質が試験成績表等で確認できる。 ・ 海岸部に保管する型枠のセパレート、組立の鉄筋等は、錆防止対策を行っている。 ・ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <p>【護岸・消波工事・離岸堤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリートブロックの転置、仮置に際し、強度確認を行っている。 ・ コンクリートブロックの仮置きで転倒、崩壊等の恐れがない。 ・ 設置されたブロックに破損や補修痕のないことが確認できる。 ・ 砂地や岩盤への根入れが適正で、不等沈下や背後土砂のパイピング等がない。 ・ 上部構造物の継ぎ目から背後土砂の流出がないことが確認できる。 ・ 異形ブロック等を現場で製作のものは、型枠搬入時に仮組等を実施し、寸法・歪み・傷等をチェックしている。 ・ 異形ブロックの製作で豆板、かけ、型枠の目違いが規定の範囲であることが確認できる。 ・ 乱積でコンクリートブロック相互のかみ合わせがよく、孤立したブロックがないことが確認できる。 <p>【突堤工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 捨石基礎の均し面が平坦に仕上げられていることが確認できる。 ・ 捨石の基盤に敷設する帆布は、重ね合わせなどが適切に行われている。 ・ 方塊ブロックが垂直に据えられていることが確認できる。 ・ 捨石基礎は、大小の石でかみ合わせが良く、均し面にゆるみがないよう施工されていることが確認できる。 ・ 岩着の基礎工は、岩の状態を把握し、表面の藻、砂などを除去した上で施工されている。 ・ 水中コンクリートの品質規格が確認できる。 ・ 水中コンクリートの打設に際し、海水混入の防止策を実施している。 <p>【上部工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工の打ち継ぎ目では、位置が適正で、コンクリート打設前の清掃等が適切に行われている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員が文書で改善指示を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば……d</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば……e</p>	

	<p>【中詰、被覆などの基礎工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中詰めに使用する石の計量が適切であることが確認できる。 ・ 基礎工は、大小の石でかみ合わせ良く、均し面にゆりみがないよう施工されていることが確認できる。 ・ 基礎に敷設する帆布等の破れがなく、所定の重ねが写真記録等により確認できる。。 ・ 捨て石基礎の均し面が平坦に仕上げられていることが確認できる。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p> <p>評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が80%以上..... a</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が60%から80%未満..... b</p> <p>ばらつきが少なく(規格値を満足)、評価値が60%未満..... c</p> <p>ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合は... c</p>		<p style="text-align: right;">Ver.D1801</p>
--	--	--	---

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	法面工事	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
品質		<p>【評価対象項目】</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工基面が平滑に仕上げられている。 湧水、地表水の処理が適切で侵食、亀裂等がない。 ラス張工は、地山に均等になじむように張られ、浮いているところないように施工されている。 金網・ネット等が仕様書の通り施工され、仕上げ面から適正な間隔を保ち固定されている。 法肩の地山への巻き込みが適正に施工されている。 ネットの設置にあたり法面への固定方法が適切である。 地山表面の不純物の除去が確実に実施されている。 <p>【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土壌試験を実施し、施工に反映している。 ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 吹付け厚さが均等である。 吹付け厚さによって必要な場合、2層以上の吹き付けは、層を分けて施工していることが確認できる。 跳ね返り材料が適切に処理されている。 厚さによる2層以上の吹き付けでは、剥離がないことが確認できる。 種子の品質が適正なことが書類等で確認できる。 <p>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。 吹付け厚さが均等である。 跳ね返り材料が適切に処理されている。 金網が仕様書の通りに施工され、仕上げ面から適正な間隔を保ち固定されている。 金網等の設置にあたり、法面への固定方法が適切である。 水抜きパイプが適切に配置されている。 <p>【現場打ち法枠工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンカーの施工長さが確認できる。 現場養生が適切に行われていることが確認できる。 枠内に空隙がないことが確認できる。 層間にはく離がないことが確認できる。 跳ね返り材料が適切に処理されている。 アンカーが確実に固定されている。 <p>【アンカー工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボルトの締付確認が実施され、適切に管理されている。 ボルトの締め付け機、測定機器のキャリブレーションを実施している。 アンカー施工までの定着具、テンドン等の保管管理が適正である。 アンカー等の組み立て、加工が適正で損傷、汚れがない。 グラウト注入のセメントミルクの品質、強度および充填確認が資料等により確認できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p>上記該当あれば.....d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p>上記該当あれば.....e</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> • 削孔の位置、削孔長、方向について確認できる記録が管理されている。 • 削孔内の洗浄が適切に施工され、スライムの除去が資料等で確認できる。 • 設計アンカーの耐力確保のためにジャッキの試験成績表に基づき、定着荷重の資料が整備されている。 • 材料・製品の品質・規格等がミルシート等により確認できる。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象事項だけで評価する。</p> <p>評価値 (%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく (規格値の80%以内)、評価値が80%以上..... a</p> <p>ばらつきが少なく (規格値の80%以内)、評価値が60%から80%未満..... b</p> <p>ばらつきが少なく (規格値を満足)、評価値が60%未満..... c</p> <p>ただし、ばらつきが少なく (規格値を満足) 該当項目が3項目以下の場合は... c</p>		<p style="text-align: right;">Ver.D1801</p>
--	--	--	---

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	地盤改良工事(サンドマット等は【盛土・築堤】で評定)	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
品質		<p>[評価対象項目] 【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用材料は、数量をはじめ、安全性が確認できる品質証明書が整理されている。 施工ポイントにロッドのセンターが合っているか、ロッドの寸法、及び残尺をもって確認できる。 機械の安定を確保し、垂直精度を確認し、孔曲がりの防止につとめ、水平度、鉛直度が確保されている。 注入量は、流量計を使用し、規定分の注入材を注入したことが確認できる。 改良地盤にあつては、改良間が規定通りに改良がなされ、強弱がないことが確認できる。 工事着手前に配合試験、一軸圧縮試験等を実施し、それに基づいた施工が実施されている。 <p>【薬液注入工】</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬液の配合は、常に設定されたゲルタイムになるように日々管理がなされている。 注入順序はステップアップ方式とし正規の間隔で引き上げ管理していることが確認できる。 注入は、突出量を一定に保つように圧力管理が実施されている。 注入状況を証明する記録用紙には、監督員の検印されたもので整理されている。 注入完了後は、設計を満足する結果かどうかを透水試験等により確認されている。 薬液注入箇所周辺の地下水及び公共用水域等の水質汚濁の状況を監視し、測定結果が水質基準に適合している。 <p>【高圧噴射攪拌工】</p> <ul style="list-style-type: none"> 噴射テストにより施工仕様の確認を実施している。 造成の際には、圧力、回転数などの施工仕様に基づき管理されていることが確認できる。 注入材の管理は、常に練り上がった注入材の比重をマッドバランスで管理し、日々測定の比重管理が実施されている。 規定の有効径が確保され、一軸圧縮強度試験により強度管理されている。 六価クロム溶脱に対する確認が実施され、本工事が実施されている。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () = ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が80%以上..... a ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が60%以上から80%未満..... b ばらつきが少なく(規格値を満足)、評価値が60%未満..... c ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合には... c</p>			<ul style="list-style-type: none"> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p>上記該当あれば..... d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p>上記該当あれば..... e</p>

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 職 員)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
品 質	コンクリ ト橋工 事（PC 及びRC を対象）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>【評価対象項目】 【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。 ・ コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度、スラブ・空気量等が確認できる。 ・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレータによる締固、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） ・ 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打設後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 ・ 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミールシート等で確認できる。 ・ コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 ・ スペースを適切に配置し、鉄筋のかぶり確保している。 ・ 鉄筋圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 ・ 鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。 ・ コンクリート打設時に雨水やわき水が適切に処理されている。 ・ コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 ・ コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ 施工の打ち継ぎ目では、コンクリート打設前の清掃等が適切に行われている。 <p>【製作関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品の員数をはじめ規格の照合がミールシート等（現場照合を含む）で確認できる。 ・ 作業実施前に装置（機器）のキャリブレーションが実施されている。 ・ スペースの材料が適正で、品質が確認できる。 ・ プレベーム桁プレクションで適正に実施されている。 ・ 緊張及びグラウト管理が適切に管理されている。 ・ プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 <p>【架設関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタルでの付着が確認でき、仕上げ面に水切り勾配がついている。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象事項だけで評価する。 評価値（％）＝評価数／対象数＝（ ）／（ ）＝ ばらつきが少なく（規格値の80％以内）、評価値が80％以上..... a ばらつきが少なく（規格値の80％以内）、評価値が60以上～80％未満..... b ばらつきが少なく（規格値を満足）、評価値が60％未満..... c ただし、ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が3項目以下の場合は... c</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラックがある場合、進行性又は有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 別紙-5を参照 上記該当あれば..... c 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員が文書で改善指示を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば..... d</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば..... e</p>		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 職 員)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
品 質	トンネル 工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>【評価対象項目】 【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。 ・ コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度、スラック・空気量等が確認できる。 ・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレータによる締固、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリートを含む） ・ 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 ・ 鉄網の保管管理が適正であることが確認できる。 ・ コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 ・ 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 ・ 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打設後、取り外し時期がコンクリート強度等で適正に管理されている。 ・ コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ コンクリート打設時に雨水やわき水が適切に処理されている。 ・ コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 ・ 鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。 ・ スパ－サーを適切に配置し、鉄筋のかぶり確保している。 ・ 鉄筋圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 ・ 施工の打ち継ぎ目では、コンクリート打設前の清掃等が適切に行われている。 ・ 施工中の地質・湧水の状況、支保工や覆工の変状等を観察・記録し適切な対処がなされている。 ・ 現場でのセメント及び混和剤等の保管管理では、防湿性の高いサイロ及び倉庫で管理されている。 <p>【掘削】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掘削は、地山を緩ませないように、かつ出来る限り滑らかに仕上げ、支保工との間隙（余掘）が少ないように施工している。 ・ 爆破後の掘削面のゆるんだ部分や浮き石を丁寧に除去している。 <p>【支保工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金網の継ぎ目を15cm（1目）以上重ね合わせていることが確認できる。 ・ 吹き付けコンクリートは浮き石等を除いた後に、15cm以下の厚さで地山と密着するよう施工されている。 ・ 吹き付けコンクリートの打ち継ぎ部の施工では、清掃及び湿潤状態が確認できる。 ・ ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされている。 ・ ロックボルトの引き抜き耐力の確保のために孔荒れることがないように丁寧な施工が行われている。 ・ 設計図書とおりに鋼製支保工の間隔が守られている。 ・ 鋼製支保工の立て込み設置が良好で、吹き付けモルタルとの隙間がなく、丁寧な施工がうかがえる。 <p>【覆工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上にないことが確認できる。 ・ 防水シートの品質・形状が設計図書どおりになっている。 ・ 防水シートの溶着を確実にし、湧水やひび割れのないコンクリートの仕上がりが確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員が文書で改善指示を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば……d</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば……e</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ インパートは、打ち継ぎ目に注意した施工が実施されている。 				

- ・ 湧水処理対策として埋設される排水材が的確に施工され機能している。
- ・ 覆工コンクリートは打設時に型枠に変圧を与えていないことが確認できる。
- ・ 巻き立て補強鉄筋は、所定のカブリが確保されている。

試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象事項だけで評価する。

評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () =

ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、該当項目が80%以上..... a

ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、該当項目が60以上~80%未満..... b

ばらつきが少なく(規格値を満足)、該当項目が60%未満..... c

ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合は..... c

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ	公園・植栽工事	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
品質		<p>【評価対象項目】</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 材料の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。 路床・路盤工のプレフローリングを行っている。 石積み、二次製品側溝等の材料のかみ合わせ又は連結が適正で、裏込め材料等の沈下、崩壊又は漏水のおそれがない。 雨水等のたん水が生じないように排水対策を実施している。 盛土材の品質、形状が設計図書に基づくものになっている。 締め固めを適切な条件で施工している。 <p>【舗装工・表層工】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計図書に基づく混合物は、配合報告書により適切な配合規格が確認できる。 クレー（混合土）表層材料の混合が入念に行われ、品質が均一であることが書類等で確認できる。 平板、レンガ、タイル舗装等の目ずれがなく、共通仕様書等に定められたとおり処理されていることが確認できる。 排水勾配が適正に守られ、水溜まりが生じていない。 <p>【植栽工】</p> <ul style="list-style-type: none"> 土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施し施工に反映している。 活着管理が適正に行われている。 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切になされている。 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥されている。 土壌改良においては、設計に基づく改良深さ、改良材の添加量が確保され、均一に混合されている。 日焼け、病虫害を防止するため幹巻きなどが適切に行われている。 鳥居は、全体的な美観を考慮して、高さ、方向など統一されて施工されている。 高木は、バランスよく支線が張られ、緩みなく施工されている。 樹木・地被類、つる性植物等には樹幹のわれ、病虫害などないことが確認できる。 現場に搬入された芝は、速やかに植え付けられ枯死しないように養生されている。 <p>【付帯設備工】</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品・機器の機能、性能が確認でき、満足している。 地下埋設物が設計図書に基づき適正に施工されており、記録により確認できる。 遊戯施設等の構造物の設置では、ひずみ、歪み、ふれがないように、堅固に基礎に取り付けられている。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 評価値（％）＝評価数／対象数＝（ ）／（ ）＝ ばらつきが少なく（規格値の80％以内）、該当項目が80％以上..... a ばらつきが少なく（規格値の80％以内）、該当項目が60以上～80％未満..... b ばらつきが少なく（規格値を満足）、該当項目が60％未満..... c ただし、ばらつきが少なく（規格値を満足）該当項目が3項目以下の場合は... c</p>		<ul style="list-style-type: none"> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p>上記該当あれば..... d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p>上記該当あれば..... e</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	防護柵(網) 視線視線標識・照明灯 区画線等設置工事	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定めばらつき】の判断は別図参照。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。 	
品質		<p>【評価対象項目】</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボルトは資材に対し直角に通り、緩みなく締め付けが十分であることが確認できる。 シールは位置、高さなどの点で適正に貼られ、しわが寄っていない。 <p>【防護柵】</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品の損傷、キズ、へこみなどがないことが確認できる。 防護柵は、垂直に立ち、規格とおりの高さに設置され、道路の路側構造物との位置関係が図られている。 連結するボルト等にゆるみがない。 支柱とレール、及びロープにゆがみがない。 ケーブル型防護柵の曲線部では、支柱がケーブル張力によって傾かないように施工されている。 支柱を打ち込む場合は、地盤をゆるめないように注意して施工され、また穴を掘って立て込む場合は、十分に突き固めて埋め戻されている。 支柱を支える基礎は、規格通りにできあがり、高さ、位置は設計図書に適合することが確認できる。 <p>【視線誘導標・道路標識】</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品の損傷、キズ、へこみなどがないことが確認できる。 視線誘導標、道路標識は、垂直に立ち、規格とおりの高さに設置され、道路の路側構造物との位置関係はいる。 色彩・反射性能を試験結果報告書などで確認できる。 構造物強度・地耐力の確認が出来る。 視線誘導標の反射器の角度が適切である。 視線誘導標の支柱が沈下するおそれがないよう十分突き固められている。 コンクリート基礎の施工では、周囲の締め固めが十分に行われている。 支柱を支える基礎は、規格通りにできあがり、高さ、位置が設計図書により確認できる。 <p>【区画線】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下である。 塗料の空き缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 施工時の気象条件を考慮し、施工がなされていることが確認できる。 施工前に路面を清掃した上で、乾燥後に施工されている。 溶融式区画線の施工では溶融槽を適温に管理している。 <p>【照明灯】</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品に損傷、キズ、へこみなどがないことが確認できる。 照明灯は、垂直に立ち、規格とおりの高さに設置され、道路の路側構造物との位置関係が適正である。 設計図書に明示以外は、照明灯の方向は、道路法線に直角に対象形になっている。 構造物強度・地耐力の確認が出来る。 基礎の周囲の締め固めが十分に行われている。 支柱を支える基礎は、規格どおりにできあがり、高さ、位置が設計図書により確認ができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p>上記該当あれば.....d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p>上記該当あれば.....e</p>

		<p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p> <p>評価値 (%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく (規格値の80%以内)、該当項目が80%以上..... a</p> <p>ばらつきが少なく (規格値の80%以内)、該当項目が60以上 ~ 80%未満..... b</p> <p>ばらつきが少なく (規格値を満足)、該当項目が60%未満..... c</p> <p>ただし、ばらつきが少なく (規格値を満足) 該当項目が3項目以下の場合は... c</p>		<p>Ver.D1801</p>
--	--	---	--	------------------

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 職 員)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
品 質	維持修繕 工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>[評価対象項目]</p> <p>【 (防雪) 柵設置工事 (組み立て、収納、撤去) 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支線の設置方法及びターンバックルの締め付けが適切であり、堅固に固定されている。 ・ 返納材料が部材毎に整備され、指定保管場所に適切に集積されていることが確認できる。 ・ 部材形状がきめ細かに調整され、各スパンが均一に施工されていることが確認できる。 ・ 締め付けボルト、固定金具の取り付け状況を入念に点検し、施工されていることが確認できる。 ・ 製品に新材がある場合、キズ、へこみ、塗装のはがれがないことが確認できる。 <p>【 舗装道維持修繕工事 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計図書に基づく混合物の配合報告書により適切な混合物の規格が確認できる。 ・ 舗装が入念に実施されており、周縁部との段差、隙間などなく、確実な密着が確認できる。 ・ 施工面の水、ゴミ等の有害物を除去後に舗装したことが確認できる。 ・ プライマーが適切な方法により均一に散布又は塗布されており、確認できる。 ・ 打ち換えの舗装補修では、路盤の不陸が確実に修正され、切削工では切削面が平坦にできあがっている。 <p>【 道路維持修繕工事 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料 (二次製品) の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。 ・ 基礎、支柱が沈下しないよう、設置孔の基礎部が十分締め固められ、堅固に立て込まれている。 ・ 取り替え前に、既存部材の形状等がきめ細かに調整され、支障なく本来の機能が確保されている。 ・ 蓋掛け前に、施工区間内側溝の清掃が実施され、蓋のガタツキがないことが確認される。 ・ 構築物、道路付属物周辺の除草、伐採が実施されている。 <p>【 河床整形工事 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工基面が平滑に仕上げられている。 ・ 土砂等の流出、既存施設への影響が生じないよう適切に施工している。 ・ 灌木等の伐採漏れがなく、切断高さは、設計図書に従って、対象範囲を確実に処理している。 ・ 伐採及び撤去物の処理が適正に行われていることが確認できる。 <p style="margin-top: 10px;">試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p> <p>評価値 (%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく (規格値の80%以内)、該当項目が80%以上..... a</p> <p>ばらつきが少なく (規格値の80%以内)、該当項目が60%以上 ~ 80%未満..... b</p> <p>ばらつきが少なく (規格値を満足)、該当項目が60%未満..... c</p> <p>ただし、ばらつきが少なく (規格値を満足) 該当項目が3項目以下の場合は... c</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば..... d 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば..... e 	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 職 員)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	港湾築造 工事 (浚渫、海 岸築造工 事を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
品 質		<p>[評価対象項目]</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 ・ 鋼材の規格・数量がミルシート等（現物照合を含む）で確認できる。 ・ 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる ・ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験または試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。 ・ コークリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ・空気量等が確認できる。 ・ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレータによる締固、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コークリート等を含む） ・ 型枠、支保工の組立が適正で、コンクリート打設後、取り外し時期がコークリート強度等で適正に管理されている。 ・ コンクリートの打ち直しや補修の痕跡がない。 ・ コンクリート打設時に雨水やわき水が適切に処理されている。 ・ コンクリートの現場養生用の供試体が当該現場のものであることが確認できる。 ・ 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されている。 ・ 捨石、被覆石などの材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。 ・ コークリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 ・ 鉄筋の組立・加工が適切であることが確認できる。 ・ スパ-サーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。 ・ 鉄筋圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 ・ 鉄筋の規格・引張強度・曲げ強度の試験値をミルシート等で確認できる。 ・ 潮位が事前に確認され整理されている。 <p>【浚渫・床掘関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浚渫工又は床掘工についてムラなく設計図書どおりに施工されていることが記録により確認できる。 ・ 測深資料から施工の適正さが確認できる。 <p>【地盤改良関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 ・ 浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる ・ サンド・砕石ドレーン、サンドコンパクション及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打ち込み記録等により確認できる。 ・ ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打ち込み記録により確認できる。 ・ サンドコンパクションパイルが連続した一様な形状に施工され、記録により確認できる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば.....d 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば.....e 	

<p style="text-align: center;">品 質</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロッドコンパクションの打込記録から、一様な品質の施工が確認できる。 ・ 深層混合処理の打込記録から、仕様書に定められている事項が確認できる。 ・ 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 ・ 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 ・ 打ち込み機の施工に先立ち自動記録装置の性能確認試験がなされている。 ・ 打ち込み記録が適正に施工管理なされている。 【マット、捨石及び均し関係】 ・ マットが破損なく所定の幅で積み重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 ・ 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 ・ 裏込めが既設構造物及び砂防目地版の破損に注意して施工され、記録により確認できる。 【本体：杭及び矢板、控工関係】 ・ 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されている。 ・ 杭及び矢板の打止め施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 ・ 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 ・ 腹起こし材を全延長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させている。 ・ 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処理されている。 ・ 控索材は隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。 ・ 捨石等の規格・計量が確認できる。 【本体：ケーソン関係、ブロック据付関係】 ・ ケーソン進水、仮置、曳航及び回航の施工上の注意事項（仕様書による）が守られている。 ・ ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われている。 ・ ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われている。 ・ ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されている。 ・ コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われている。 ・ ブロック据付等についてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されている。 ・ 乱積でコンクリートブロック相互のかみ合わせがよく、孤立したブロックがないことが確認できる。 ・ 異形ブロック等を現場で製作のものは、型枠搬入時に仮組等を実施し、寸法・歪み・傷等をチェックしている。 ・ 異形ブロックの製作で豆板、かけ、型枠の目違いが規定の範囲であることが確認できる。 【防波堤工事】 ・ 捨石基礎の均し面が平坦に仕上げられていることが確認できる。 ・ 捨石の基盤に敷設する帆布は、重ね合わせなど適切に行われている。 ・ 方塊ブロックが垂直に据えられていることが確認できる。 		
--	---	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捨石基礎は、大小の石でかみ合わせが良く、均し面にゆるみがないよう施工されていることが確認できる。 ・ 岩着の基礎工は、岩の状態を把握し、表面の藻、砂などを除去した上で施工されている。 ・ 水中コンクリートの品質規格が確認できる。 ・ 水中コンクリートの打設に際し、海水混入の防止策を実施している。 ・ 乱積でコンクリートブロック相互のかみ合わせがよく、孤立したブロックがないことが確認できる。 <p>【上部工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工の打ち継ぎ目では、位置が適正で、コンクリート打設前の清掃等が適切に行われている。 <p>【中詰、被覆などの基礎工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中詰めに使用する石の計量が適切であることが確認できる。 ・ 大小の石でかみ合わせ良く、均し面にゆるみがないよう施工されていることが確認できる。 ・ 基礎に敷設する帆布等の破れがなく、所定の重ねが写真記録等により確認できる。 ・ 捨て石基礎の均し面が平坦に仕上げられていることが確認できる。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。</p> <p>評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が80%以上..... a</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、評価値が60以上~80%未満..... b</p> <p>ばらつきが少なく(規格値を満足)、評価値が60%未満..... c</p> <p>ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合は... c</p>		
--	---	--	--

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 職 員)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	道路工事	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない 【関連基準、土木工事施工管理基準その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>[評価対象項目]</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> できあがりの平坦性が確保されている。 排水勾配が適正にセットされ、水溜まりが生じていない。 乗り入れ箇所などの接合部がスムーズに取り付けられている。 歩車道境界ブロックなどの製品物の並びがきれいに通っている。 付属構造物との接合部など、路盤面にたわみがない。 路体盛土の施工前に段切り等を適切に行われている。 路体盛土の締め固めを適切な条件で施工されている。 路体盛土の密度管理が適切に行われている。 <p>【路床・路盤】</p> <ul style="list-style-type: none"> 路床・路盤工のプルフローリングを行っており、沈下等の不具合があった場合は、良質な材料で入れ替える等の対策を行っている。 材料の分離しないようにおろす位置、方法等が適正な方法で行われている。 構造物周辺の締め固め等が適切に行われている。 路床・路盤工の密度管理が適切に行われている。 材料の品質証明書が整理されている。 路盤材に不適な混合物の混入防止が図られ、混入のないことが確認できる。 路床・路盤が均一に仕上げられていることが確認できる。 軟弱地盤などの地盤改良が試験結果に基づき適正に行われていることが確認できる。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目だけで評価する。 評価値 (%) = 評価数 / 対象数 = () / () = ばらつきが少なく (規格値の80%以内)、評価値が80%以上..... a ばらつきが少なく (規格値の80%以内)、評価値が60以上 ~ 80%未満..... b ばらつきが少なく (規格値を満足)、評価値が60%未満..... c ただし、ばらつきが少なく (規格値を満足) 該当項目が3項目以下の場合は... c</p>		<ul style="list-style-type: none"> 監督員が文書で改善指示を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば..... d</p>	<ul style="list-style-type: none"> 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば..... e</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 職 員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
品 質	歩道工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>[評価対象項目]</p> <p>【土工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掘削を行うにあたり路床以下を乱さないように施工していることが確認できる。 ・ 締め固めを適正な条件で施工していることが確認できる。 <p>【路盤・舗装工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表面排水が良好である。 ・ アスファルト舗装の現場密度、舗設温度等の品質管理が適切に行われている。 ・ 段差解消などバリアフリー対策として舗装の平坦性が確保されている。 ・ 路盤工の密度管理が適正に実施されている。 ・ 材料の品質証明書が整理されている。 ・ 構造物周辺の締め固めが適切に実施されている。 <p>【付属構造物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート側溝が平坦に仕上げられ、蓋の収まりが良く、ガタツキがない。 ・ 付属構造物・製品等の規格、品質、性能等が成績証明書で確認できる。 ・ 排水勾配が適正にセットされ、水溜まりが生じていない。 ・ 付属構造物との接合部などで、舗装面のたわみがない。 <p style="margin-top: 10px;">試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象事項だけで評価する。 評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、該当項目が80%以上..... a ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、該当項目が60%以上～80%未満..... b ばらつきが少なく(規格値を満足)、該当項目が60%未満..... c ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合は... c</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員が文書で改善指示を行った。 <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">上記該当あれば..... d</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">上記該当あれば..... e</p>		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検 査 職 員)

審査項目	工種	a	b	c	d	e
品 質	下水道 工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ばらつきの判断は別図参照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		<p>[評価対象項目]</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マンホールにおいて出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール、止水ゴムが適切に設置されている。 ・ インパートは形状、勾配等が適正で漏水がない。 ・ 防食被覆が入念に実施され、かつ表面が滑らかである。 ・ マンホールにおいて各部材にクラック等がなく、漏水がない。 ・ マンホールの足掛金具の位置、方向、出が適正で、鉄蓋位置については、ガタツキがなく仕上がり、天端高さも適正である。 ・ 材料の品質規格証明書等が整備されている。 ・ 出来形管理基準を満足しており、目立った屈曲や沈下が無い。 ・ 管渠において漏水箇所がなく、影響を与えるクラックや変形がない。 ・ 管渠継ぎ手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好である。 ・ 不可視部分が写真等の資料から適正に施工されていたことが確認できる。 ・ マンホール用品の規格・品質がミルシートで確認できる。 ・ 管渠の規格・品質がミルシートで確認できる。 <p>【開削工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管渠継ぎ手部ボルトの締め付け確認が実施され、適正に記録が管理されている ・ 置き換えのための掘削を行うにあたり掘削面以下を乱さないように施工している。 ・ 埋め戻しにおいて締め固めが適正な方法で施工されており、工事終了後に沈下が無い。 ・ 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 ・ 管渠の接合状況が良好であることが確認できる。 ・ 管の周辺に空隙、ゆるみがない。 <p>【推進工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防食被覆が入念に施工されていることが確認できる。 ・ 管底に水がたまった形跡がない。 ・ 薬液注入工において削孔・注入の状況及び効果が管理資料から確認できる。 ・ 排水処理工において送排泥管の流量測定記録、逸水の管理が適正に実施されていることが確認できる。 ・ 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 ・ 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 ・ 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 <p>【シールド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セグメントの規格・品質がミルシートで確認できる。 ・ 溶接作業にあたり作業員の技量確認を行っている。 ・ 二次コンクリート打設前に付着物除去のための十分な水洗清掃を行っていることが確認できる。 ・ 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。 ・ シールド推進作業等がデータで確認できる。 ・ 裏込め注入状況がデータで確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督員が文書で改善指示を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば……d</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約款第18条第2項及び第3項に基づき破壊検査を行った。 <p style="text-align: center;">上記該当あれば……e</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 <p>試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象事項だけで評価する。 評価値(%) = 評価数 / 対象数 = () / () =</p> <p>ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、該当項目が80%以上..... a ばらつきが少なく(規格値の80%以内)、該当項目が60以上~80%未満..... b ばらつきが少なく(規格値を満足)、該当項目が60%未満..... c ただし、ばらつきが少なく(規格値を満足)該当項目が3項目以下の場合は... c</p>		<p style="text-align: right;">Ver.D1801</p>
--	---	--	---

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検 査 職 員)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
3.出来形及び 出来ばえ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の事項に該当しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネル工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート構造物の肌が良い。 該当 5 項目以上..... a ・ コンクリート構造物の通りが良い。 該当 4 項目以上..... b ・ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 該当 3 項目以上..... c ・ クラックがない。 該当 2 項目以下..... d ・ 漏水がない。 ・ 全体的な美観が良い。 			
	コンクリート二次製品構 造物工事 (管水路工事も含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物の通りがよい。 該当 6 項目以上..... a ・ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 該当 5 項目以上..... b ・ クラックがない。 該当 4 項目以上..... c ・ 漏水がない 該当 3 項目以下..... d ・ 全体的な美観が良い。 ・ 小構造物にも細心の注意が払われている。 ・ 材料の連結、かみ合わせがよい。 			
	土工事 (盛土・築堤工事等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げが良い。 該当 4 項目以上..... a ・ 通りが良い。 該当 3 項目以上..... b ・ 端部処理が良い。 該当 2 項目以上..... c ・ 構造物へのすりつけ等が良い。 該当 1 項目以下..... d ・ 全体的な美観が良い。 			
出来 ばえ	補強盛土工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壁面材の割れ、カケがない。 該当 5 項目以上..... a ・ 基礎上面の平坦性が良い。 該当 4 項目以上..... b ・ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 該当 3 項目以上..... c ・ 壁面材の目違い、段差がすくない。 該当 2 項目以下..... d ・ 構造物の通りが良い。 ・ 全体的な美観が良い。 			
	切土工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定された勾配が確保されている。 該当 6 項目以上..... a ・ 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 該当 5 項目以上..... b ・ 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 該当 4 項目以上..... c ・ 施工面の木根等が確実に施工されている。 該当 3 項目以下..... d ・ 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 ・ 関係構造物との取り合いが適切に行われている。 ・ 残土等は適切に処理されている。 			
	護岸・根固・水制工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通りが良い。 該当 4 項目以上..... a ・ 材料のかみ合わせがよい、またはクラックがない。 該当 3 項目以上..... b ・ 天端、端部の仕上げがよい。 該当 2 項目以上..... c ・ 既設構造物とのすりつけがよい。 該当 1 項目以下..... d ・ 全体的な美観が良い。 			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工種	a	b	c	d
3.出来形及び出来ばえ	鋼橋工事	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 他の事項に該当しない 	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
		<ul style="list-style-type: none"> 表面に補修箇所がない。 部材表面に傷、錆がない。 溶接に均一性がある。 塗装に均一性がある。 全体的な美観が良い。 		該当4項目以上..... a 該当3項目以上..... b 該当2項目以上..... c 該当1項目以下..... d	
	砂防工事（かご工事・集水井戸工事・抑止杭工事・排水路工事・水抜きボ-リング工事等）	<ul style="list-style-type: none"> 地山との取り合いが良い。 天端、端部の仕上げが良い。 施工管理記録から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 全体的な美観が良い 		該当3項目以上..... a 該当2項目以上..... b 該当1項目以上..... c 該当項目なし..... d	
	舗装工事（橋面舗装も含む）	<ul style="list-style-type: none"> 舗装の平坦性が良い。 構造物の通りが良い。 端部処理が良い。 構造物へのすりつけ等が良い。 雨水処理が良い。 全体的な美観が良い。 		該当5項目以上..... a 該当4項目以上..... b 該当3項目以上..... c 該当2項目以下..... d	
	法面工事（アンカー工も含む）	<ul style="list-style-type: none"> 通りが良い。 植生、吹付け等の状態が均一である。 端部処理が良い。 全体的な美観が良い。 アンカーの方向が良い。 アンカーとプレートに隙間がない。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 		該当6項目以上..... a 該当5項目以上..... b 該当4項目以上..... c 該当3項目以下..... d	
	基礎工工事（地盤改良等を含む）	<ul style="list-style-type: none"> 土工関係の仕上げが良い。 通りが良い。 天端仕上げ、端部が良い。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 		該当3項目以上..... a 該当2項目以上..... b 該当1項目以上..... c 該当項目なし..... d	
	コンクリート橋工事	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート構造物の肌が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 支承部の仕上げが良い。 クラックがない。 漏水がない。 全体的な美観が良い。 		該当6項目以上..... a 該当5項目以上..... b 該当4項目以上..... c 該当3項目以下..... d	
	塗装工事（工場塗装を除く）	<ul style="list-style-type: none"> 塗装の均一性が良い。 細部まできめ細かな施工がされている。 補修箇所がない。 全体的な美観が良い。 		該当3項目以上..... a 該当2項目以上..... b 該当1項目以上..... c 該当項目なし..... d	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査職員)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3.出来形及び 出来ばえ	公園・植栽工事	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 他の事項に該当しない 	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
		<ul style="list-style-type: none"> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 支柱の取り付けが堅固である。 植栽帯の全体的な美観が良い。 通りがよい。 既設構造物等とのすりつけが良い。 きめ細かな施工がなされている。 全体的な美観が良い。 		該当7項目以上..... a 該当6項目以上..... b 該当5項目以上..... c 該当4項目以下..... d	
	砂防工事（落石・雪崩柵（網））工事 防護柵（網）工事 維持修繕工事（柵修繕）	<ul style="list-style-type: none"> 通りが良い。 端部処理が良い。 部材表面に傷、錆がない。 既設構造物等とのすりつけが良い。 きめ細かな施工がなされている。 全体的な美観が良い。 		該当5項目以上..... a 該当4項目以上..... b 該当3項目以上..... c 該当2項目以下..... d	
	標識工事（視線誘導標・照明灯も含む）	<ul style="list-style-type: none"> 設置位置に配慮がある。 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 標識板、支柱に変色がない。 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 全体的な取り扱いがしやすい。 		該当4項目以上..... a 該当3項目以上..... b 該当2項目以上..... c 該当1項目以下..... d	
	区画線工事	<ul style="list-style-type: none"> 塗料の塗布が均一である。 視認性が良い。 接着状態が良い。 施工前の清掃が入念に実施されている。 全体的な美観が良い。 		該当4項目以上..... a 該当3項目以上..... b 該当2項目以上..... c 該当1項目以下..... d	
	維持修繕工事（道路維持工事・舗装補修工事等）	<ul style="list-style-type: none"> 小構造物等にも細心の注意が払われている。 きめ細かな施工がなされている。 既設構造物とのすりつけが良い。 全体的な美観が良い。 水溜まりが生じていない。 		該当4項目以上..... a 該当3項目以上..... b 該当2項目以上..... c 該当1項目以下..... d	
出来ばえ	港湾築造工事（浚渫、海岸築造工事を含む）	<ul style="list-style-type: none"> 通りがよい。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。 きめ細かな施工がなされている 全体的な美観が良い。 		該当4項目以上..... a 該当3項目以上..... b 該当2項目以上..... c 該当1項目以下..... d	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査職員)

審査項目	工種	a	b	c	d
出 来 ば え	道路工事 歩道工事	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 		<ul style="list-style-type: none"> 他の事項に該当しない 	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い。
		<ul style="list-style-type: none"> 小構造物等にも細心の注意が払われている。 仕上げが良い。 通りが良い。 端部処理が良い。 構造物へのすりつけ等が良い。 全体的な美観が良い。 		該当5項目以上..... a 該当4項目以上..... b 該当3項目以上..... c 該当2項目以下..... d	
	消雪工事	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げが良い。 通りが良い。 端部処理が良い。 構造物へのすりつけ等が良い。 全体的な美観が良い。 均等に水がまわる。 使用者に対する安全及び環境の配慮が適切である。 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。 		該当7項目以上..... a 該当6項目以上..... b 該当5項目以上..... c 該当4項目以下..... d	
	下水道工事	<ul style="list-style-type: none"> 通りが良い。 漏水がない。 クラックがない。 マンホールのインバートの仕上げが良い。 マンホール天端と路面とのすりつけが良い。 埋戻し後の路面復旧の状態が良い。 施工記録から不可視部分の出来ばえのよさがうかがえる。 端部処理が良い。 		該当7項目以上..... a 該当6項目以上..... b 該当5項目以上..... c 該当4項目以下..... d	
	維持管理工事 (河川の河床整形等)	<ul style="list-style-type: none"> 小構造物等にも細心の注意が払われている。 きめ細やかな施工がなされている。 既設の構造物とも取り合いが良い。 廃棄物等が周辺に散乱していない。 全体的な美観がよい。 		該当4項目以上..... a 該当3項目以上..... b 該当2項目以上..... c 該当1項目以下..... d	
	上記以外の工事又は 合併工事	<ul style="list-style-type: none"> 審査項目記述 () <p>該当工種からの審査事項で審査し、最大審査項目は5項目とする。</p>		該当4項目以上..... a 該当3項目以上..... b 該当2項目以上..... c 該当1項目以下..... d	